

沐浴実施のルーブリック評価表の作成過程と課題

The process and challenges of creating a rubric evaluation chart for the implementation of ablution.

堺香奈子、坂本保子、箒さと子、前森桃子、藤邊祐子

要旨

本研究は、母性看護学実習の技術の一つである「沐浴」に焦点をおいて、学生が主体的に実習・演習に取り組むために、ルーブリックを用いて沐浴実施の評価表を作成した。学習課題は、「新生児の身体的特徴を理解し、安全安楽に沐浴実施できる」とし、評価観点には沐浴手技の20項目として、評価尺度は4段階評価とした。沐浴実施のルーブリック評価を使用して、学生にとっては到達レベルを理解しやすいこと、教員にとっては誰が評価しても類似した結果を得られることが効果として挙げられた。また学生と教員の客観的なフィードバックをどのようにすすめていくかが課題として挙げられた。沐浴実施のルーブリック評価を通して振り返りを行い、安全に沐浴を実施することを目的に、今後も学生と教員の評価についてルーブリック評価の意義、評価方法、評価内容を確認し、修正を重ねて、検討していく必要がある。

キーワード：ルーブリック、看護学実習評価、母性看護学、沐浴演習・実習

I. はじめに

ルーブリックは米国で開発され、テスト法では判定することができない、思考力・判断力など質的な評価を行うための評価指標として必要であり、レポートや論文など、学生の示したパフォーマンスを評価する場合にルーブリックを用いることが有効である（沖、2016）。学生に各々の学習成果を明確に示すことができ、学生に求められるパフォーマンスのレベルを、下位の到達レベルから、より上位の到達レベルへと導くことで教育の質の向上が可能となる（石垣、2016）。我が国の大学教育においては、2011年4月に大学設置基準が改定され、卒業の認定のみならず通常の授業における成績評価基準等を明示する必要性が述べられている（大学設置基準、2011）。また大学設置基準の改定に伴って、翌年2012年3月に学校教育法施行規則が改定され、通常の学修成果に係わる評価基準の明示化と公表が義務づけられている（学校教育法、2012）。このことから、学習者の達成度を示す基準となるルーブリック評価が求められることになった（石垣、2016）。2010年の看護教員養成講習のガイドラインでは、実習評価について「自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力などの能力も含めた学習の到達度を評価していくことが重要」であり、「自己学習力の向上」につながるものとして、ルーブリック評価が必要だと述べている（厚生労働省、2010）。厚生労働省の2011年の看護教育に関する検討会では、看護師に求められる実践能力として、①ヒューマンケアの基本的な能力、②根拠に基づき、看護を計画的に実践する能力、③健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復にかかわる実践能力、④ケア環

境とチーム体制を理解し活用する能力、⑤専門職者として研鑽し続ける基本能力、の5つが挙げられている（厚生労働省、2011）。このような看護の実践能力は、客観テストでは測ることができない。そこで、これらの実践能力を総合的にとらえるために、ルーブリックという評価方法が活用されている（細尾、2021）。

看護教育においては、教員（教える者）と学生（学ぶ者）の相互作用によって成立するため、教員の教育観や信条、価値観（価値判断）が大きく影響する。しかし、教育評価において教員の恣意的な判断が介入してはならない。教育評価は、公平なものであり、客観的、中立的（ニュートラル）でなければならない（森田ら、2022）。ルーブリック評価は、どの学びの時期にも使用でき、評価の主体や評価対象によらず使用できる評価ツールである。最大の特徴は、公平性、客観性、平等性があり、教員と学生の共通したフィードバック機能を有していることより、看護教育においてルーブリック評価は適している（森田ら、2022）。学生の主体性や思考力・判断力を評価するために、ルーブリックを用いた評価は有用であると考えられる。

母性看護学実習では新生児の沐浴を行うが、沐浴は清潔・衣生活の援助の他に、環境調整、排泄援助、呼吸・循環を整える技術、感染予防、安全管理、安楽の確保を統合して行う複雑な技術であり、対象者が生後間もない新生児であることから、学生にとってかなり難しい技術である。今回、ルーブリックを用いて沐浴演習・実習の評価表の作成に取り組んだ。ルーブリックを用いて、沐浴演習・実習の評価を学生と教員で行うことにより、技術の習得を促し学生の達成度を確認しながら学ぶことが期待できる。沐浴演習・実習のルーブリック評価の作成過程と、評価表を使用した結果と課題について報告する。

Ⅱ．ルーブリック評価表作成過程の実際

1．ルーブリック評価導入の背景

1) 本学看護学科のルーブリック活用について

本学のルーブリック評価導入については、2021年5月IR・EM委員会より提案された。ルーブリック評価を用いることで、学修成果の可視化、専門性と独自性を広く評価し、ディプロマ・ポリシー全域をカバーできることが指針として施行された。そして各学科で評価表を作成し、修正後に評価実施、データの観測・分析、実施後の評価が行われた。看護学科においても、「相手を尊重したコミュニケーション」、「自主的な課題探究力」、「他者と協働したグループ活動」、「地域特性を踏まえた健康の理解」、「基本的な看護実践能力」の5つの評価観点で作成された。学習成果の可視化のためのルーブリック評価は、それ以降から毎年実施され、学生とゼミ担当の教員で評価し、教育の質向上への取り組みが行われている。

2) 母性看護援助論の教育目的

本学科の母性看護援助論の教育目的は、「妊娠期・分娩期・産褥期・および新生児期の母子とその家族に対する看護活動を実践するための基礎知識を学び、基本的援助技術の理論と方法を習得する」である。母性看護援助論は全体30コマのうち6コマを演習に充てている。6コマ中、技術演習は2コマ、看護過程の演習が4コマで、技術演習の2コマの中で「妊産褥婦と新生児の観察」、「沐浴実施」を行っている。2コマだけで多くの技術を演習することになり、演習に割く時間は非常に少ない現状である。学生が基本的技術を習得し自信を持って実習に臨めるように、演習前に沐浴動画の視聴を促し、演習後は自己練習期間を設けている。

3) 母性看護学実習目標

本学科の母性看護学実習の目標は大きく5つあり、その中の「妊婦・産婦・褥婦および新生児に必要な看護技術ができる」の、中項目に(1)環境と物品の準備から後始末まで適切にできる、(2)対象の安全・安楽・自立を考慮して実践できる、(3)対象の状態と反応を観察しながら実践できる、(4)実践した内容を正確に報告し実践結果を評価できる、と掲げている。母性看護学実習では、ほぼ全員の学生が沐浴を実施しており、これらの目標に対する評価として沐浴実施の達成度が多くの部分を占めている。したがって、沐浴実施のルーブリック評価表を活用することで、技術の習得を促し、学生の達成度を確認しながら指導することができ、実習目標の達成に繋がることが考えられる。

2. ルーブリック評価表の作成過程

1) ルーブリック評価表作成の目標

今回、母性看護学実習の技術の一つである「沐浴」に焦点をおいて、学生が主体的に演習・実習に取り組むために、ルーブリック評価の活用が有効であると考えた。ルーブリックを用いて沐浴実施の評価表を作成し、学生と教員が一緒に評価を行うことで、技術の習得を促し、学生の達成度を確認しながら指導することができる。また母性看護学実習の技術において、最も高度な「沐浴」に関するルーブリック評価を行うことで、学生が沐浴に関する基本的な知識と技術を身につけ、安全に沐浴ができることを目標とした。

2) 看護学におけるルーブリックの作成過程

沐浴実施のルーブリック評価表の作成にあたり、看護学におけるルーブリックの作成過程や効果について文献検討を行った。その結果、「ルーブリック評価によって、達成目標が明確になり、教員も学生も評価しやすい」、「ルーブリックは、学生に課題や目標が可視化できる利点がある一方、具体的な評価の視点が伝えきれない」、「教員から学生へのフィードバックの機会をもち、デモンストレーションで留意点を伝えていくなど、ルーブリックを補完する仕組みが必要である」ことが示唆された(堺ら、2022)。

3) 沐浴実施のルーブリック評価表作成・評価の視点

文献検討をふまえて担当教員が演習や実習指導で重視していることを抽出・整理し、観察項目の表現や視点の重なりや同意語の表現の統一など検討し修正しながら、沐浴実施のルーブリック評価表を作成した。また森田ら(2022)の「沐浴の実施のルーブリック評価表」を参考に、評価観点を縦軸、評価尺度を横軸とした評価表を作成した。学習課題は、母性看護学実習目標に沿って「新生児の身体的特徴を理解し、安全安楽に沐浴実施できる」とした。評価観点の沐浴手技について、「助言なしで物品がすべてそろっている」、「助言なしで物品が適切な位置に準備されている」、「助言なしで新生児の衣服の準備が整っている」、「湯の最適温度がわかる」、「助言なしで物品の片付けと使用場所の整備ができる」、「ベッドネームと新生児標識の両方を確認できる」、「処置台とベビーコットのストッパーを確認できる」、「助言なしで関節に注意しながら衣類の着脱ができる」、「新生児から目を離す際に周囲に声をかけられる」、「介助なしで全身を観察でき安全に沐浴できる」、「介助なしで児を安全に腹臥位に体位変換し、背部、臀部を洗える」、「助言なしで沐浴後の保温に注意できる」、「助言なしで児に声掛けができる」、「助言なしでボディメカニクスを考えて実施できる」、「助言なしで洗面ボールに湯を準備し、適切に顔面を清拭できる」、「介助なしで、足部より湯に入れ、からだ全体にお湯をかけられる」、「介助

なしで頭部、頸部、腋窩、上肢、胸部、腹部、下肢、股間の順番に洗える」、「介助なしで臍帯、耳甲介、鼻腔の処置ができる」、「介助なしで頭部と頸部に注意して整髪ができる」の 19 項目をリスト化した。沐浴手順にそって経時的にあげた項目を、一連の動作としてまとまりを作り、「沐浴準備と知識」、「安全安楽」、「沐浴手順」の 3 つのグループに分けた。森田ら(2022)より、湯の温度、物品準備、首の固定、洗う手順、背部を洗う時の体位交換については、最低基準でもクリアしなければならないため、最低基準の設定は、「助言や補助を得ながら実施できる」としと述べている。本評価表は、クリアしなければならない項目の最低基準は「実施できない」とし、最低より一つ上の基準を「かなりの助言で」や「かなりの介助で」と表現した。評価尺度は 4 段階評価とし、「自立レベル」、「実習到達レベル」、「演習レベル」、「努力レベル」の 4 件法とし、現時点でどこまで到達しているか把握しやすい形式とした。

4) 評価内容・視点の検討

評価得点は、最高基準を 4 点、最低基準を 1 点にした。評価基準は、各教員の視点が一致した評価となるように検討し作成した。「沐浴準備の知識」では、「助言なしで物品がすべてそろっている」は 4 点、「10% (2、3 個) の助言で物品がすべてそろえられる」は 3 点、50% (半分) の助言で物品がそろえられる」は 2 点、「物品がほとんどそろえられない」は 1 点とした。その他の項目についても同様に評価基準を作成した。評価基準の内容は、できている点、できていない点について具体的にフィードバックできるように作成した。1 つの評価観点には、複数の評価基準があるため、チェックボックス方式とし、他の評価観点についても同様に表現した。沐浴実施のルーブリック評価表は所属大学倫理委員会審査承認後から学生に使用した (承認番号 22-05)。

2022 年 7 月に、沐浴実施のルーブリック評価表の試行版を作成しプレテストを行った後、担当教員らが検討・修正・意見交換し、さらに観察項目の表現、視点の重なりや同義の表現の統一、文字の大きさや、表現や解釈が困難だった基準、観察点や重複している内容などを修正した。技術リストの「介助なしで児を安全に腹臥位に体位変換し、背部、臀部を洗える」は、児を腹臥位に体位交換すること一つにおいても高度な技術と考えたため、「介助なしで児を安全に腹臥位に体位交換する」と「介助なしで背部、臀部を洗える」と、2 つの項目に分けてそれぞれが安全に行うことができたかを確認できるようにした。実習前後の評価に関しては、実習前、実習後と裏表に表記し、実習前より成長過程を明確に分かる形式とした。

5) 学生への周知・評価方法

学生には演習を行う前の母性看護援助論の講義中に、沐浴実施のルーブリック評価表の使用目的及び使用方法と、沐浴実施のルーブリック評価を行うことで、学生の成績には関係がないことを説明した。評価表は演習終了時と、実習開始前に配布した。評価時期は演習終了時と、実習開始前、終了時の 3 回実施した。評価方法は学生が自己評価をして提出し、教員も同時に評価を行い一緒に振り返りを行った。

3. 沐浴実施のルーブリック評価に取り組んだ結果と課題

沐浴実施のルーブリック評価を行った結果、学生にとっては、評価観点が明らかになることで、どの程度できればよいか到達レベルを理解しやすいこと、教員にとっては、複数の教員で評価をするため評価基準が具体的で、誰が評価しても類似した結果を得られることが効果として挙げられた。今後は、学生の自信があることは尊重しながらも、正しい技術で安全に沐浴ができてい

か、学生と教員の客観的なフィードバックをどのようにすすめていくか課題として検討していく。学習者にとって評価とは「教員から与えられる成績」すなわち評定であると解釈されていることが多く、自己評価の経験のない学生にとって不慣れで難しいことである（寺嶋ら、2006）。ルーブリック評価を継続して試行していくことで、学生が自身を客観的に見つけ、成果と問題点をバランスよく実感させていく思考過程を養っていきけるような働きかけについて検討していく。

最低基準においては、「実施できていない」は評価尺度を 0 点とするところだが、本評価表は「努力レベル」として、評価尺度を 1 点とした。「実施できていない」という評価観点を「努力レベル」とすることで、肯定的で前向きな表現より、最低レベルの評価尺度で評価された時に受けるショックを和らげることにもなる（Dannelle D. Stevens and Antonia J. Levi, 2014）。本学の学生の特徴より「できていない」の基準にあたる学生もいるため、「努力レベル」として、どうすればできるようになるかを学生と教員が一緒に振り返りを行い、技術習得に向けての具体策が導き出せるような指導が必要であると考えた。

評価観点の表現は、以下について検討中である。「助言なしで物品がすべてそろっている」と「助言なしで新生児の衣服の準備が整っている」が重複した内容になっているため、「助言なしで新生児の衣類の準備が整っている」を削除する。「湯の最適温度がわかる」は、湯の最適温度がわかるだけでは、安全に実施するまでに至らないため、「湯の最適温度を確認する」に変更する。「介助なしで児を安全に腹臥位に体位交換する」は、難易度の高い技術であるため、さらに安全に配慮し、「腹臥位に体位交換し前腕で新生児の胸部を支える」と具体的な表現とする。これらの項目については、担当教員で検討を重ねて修正をしていく。

母性看護学実習において沐浴実施は学生の負担感は大きく、不安や緊張の中でも、思いやりや愛おしさをもって実施している。木下ら(2013)は、難しいと捉えていることを緩和するには、学生の児に対する思いや学ぶ意欲のある学生の姿勢を大切に専門職としての意識を育てていくことである、と述べている。学生の自信獲得と成長を促し、責任や緊張感のある実習の中でもやりがいやケアが楽しいと思えるように、今後も支援していく。沐浴実施のルーブリック評価を通して振り返りを行い、安全に沐浴を行うことを目的に、今後も学生と教員の評価についてルーブリック評価の意義、評価方法、評価内容を確認し、修正を重ねて、検討していく必要がある。

Ⅲ. おわりに

母性看護学実習の技術の一つである「沐浴」に焦点を当てて、沐浴の技術を評価するために、教員が作成した評価表を用いてルーブリック評価を行った結果と、今後の課題について述べた。沐浴実施のルーブリック評価表を使用した効果として、学生にとっては到達レベルを理解しやすいこと、教員にとっては複数の教員で評価をするため、誰が評価しても類似した結果を得られることが挙げられた。今後も沐浴実施のルーブリック評価が十分に活用できるか確認し、修正や改善を行い検討していく。

研究助成情報

本研究は、令和 5 年度学校法人光星学院大学イノベーションプログラム（基金）の研究等補助金の助成を受けたものである。

引用・参考文献

- 1) 沖裕貴 (2014) : 大学におけるルーブリック評価導入の実際—公平で客観的かつ厳格に成績評価を目指して—、立命館高等教育研究、14 号、71-90.
- 2) 石垣明子 (2016) : 大学におけるルーブリック評価の開発—医療人文科目における社会人基礎力を涵養するルーブリッカー、つくば国際大学研究紀要、No. 22、27-39.
学校教育法施行規則、第百四十七条の一 (2012)
<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=322M40000080011> (参照 2023. 1. 31)
- 3) 大学設置基準、第二十五条の二の 2 (2011)
<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=331M50000080028> (参照 2023. 1. 31)
- 4) 学校教育法施行規則、第百四十七条の一 (2012)
<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=322M40000080011> (参照 2023. 1. 31)
- 5) 厚生労働省、「専任教員養成講習会及び教務主任養成講習会ガイドライン」(2010)
<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000021c5z-att/2r98520000021d00.pdf>
(参照 2023. 1. 31)
- 6) 厚生労働省、「看護教育の内容と方法に関する検討会報告書」について (2011)
<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000001316y.html> (参照 2023. 1. 31)
- 7) 細尾萌子 (2021) : ルーブリックの意義と活用のポイント 教員・指導者も学生も成長する評価へ、看護教育、62 (8)、692-701.
- 8) 森田敏子、上田伊沙子 (2018) : 看護教育に活かすルーブリック評価実践ガイド、メヂカルフレンド社.
- 9) 堺香奈子、前森桃子、坂本保子、藤邊祐子 (2023) : 看護学におけるルーブリックの作成過程と導入後の効果に関する文献検討—沐浴演習のルーブリック作成に向けて—、八戸学院大学紀要、66、87-95.
- 10) 寺嶋浩介、林朋美 (2006) : ルーブリックの構築により自己評価を促す問題解決学習の開発、京都大学高等教育研究、12、63-71.
- 11) Dannelle D. Stevens and Antonia J. Levi (2014)、佐藤浩章 (2014) : 大学教員のためのルーブリック評価入門、玉川大学出版部.
- 12) 木下照子、谷野宏美 (2013) : A 大学が難しいと捉える沐浴技術の傾向—看護学科と幼児教育学科の沐浴演習を通して—、新見公立大学紀要、34、41-43.
- 13) 大井千鶴、諸田直美、今泉郷子、他 (2018) : 成人看護論実習評価におけるルーブリック作成過程の実際、武蔵野大学看護学研究所紀要、12、49-55.
- 14) 山田貴代、高木静香、東野定律、他 (2017) : 妊婦健康診査実習における助産学生に実習記録の評価の評価者間の一致度の検討—開発したルーブリックの有用性—、Journal of Wellness and Health Care、41 (1)、71-85.
- 15) 岸川公紀、梶田鈴子 (2019) : ルーブリックの作成方法と活用に関する一考察—学生のアンケートを踏まえながら—、中村学園大学・中村学園大学短期大学部研究紀要、51、199-208.
- 16) 本田由美、脇坂豊美、山居輝美、他 (2020) : ICE ルーブリック評価票の活用と技術修得の実態—「シーツ交換」の技術テストを通して—、甲南女子大学研究紀要Ⅱ、14、29-39.

- 17) 長峰伸治、成松美枝、高橋佐和子 (2018)：本学養護教諭過程履修学生のルーブリックに夜自己評価-ルーブリックの作成と実施について -、聖隷クリストファー大学看護学部紀要、26、7-17.
- 18) 鈴木香苗、中信利恵子、松本由恵、他 (2018)：成人看護学実習における学生のルーブリックの活用状況、日本赤十字広島看護大学紀要、18、11-17.
- 19) 須藤聖子、林有学、小林智子、他 (2018)：看護基礎教育における e ポートフォリオ学修の実践報告 (第二報) -基礎看護学におけるルーブリック評価の試み-、畿央大学紀要、15 (2)、75-81.
- 20) 鷺尾弘枝、宮崎誠 (2019)：看護基礎教育における e ポートフォリオ学修の実践報告 (第四報) -母性看護学におけるルーブリック評価の試み-、畿央大学紀要、16 (1)、53-63.
- 21) 小林菜穂子、西山ゆかり、高島留美 (2022)：基礎看護学実習 I におけるコミュニケーション能力育成に向けたルーブリックの使用による学習活動と学びの内容、聖泉看護学研究、11、11-21.
- 22) 作山美智子、傍島智子、安藤莉香、他 (2022)：在宅看護実習におけるルーブリック評価表を導入した教育効果の検討、東北文化学園大学看護学科紀要、11 (1)、29-42.
- 23) 為永義憲、蒔田寛子、山根友絵 (2021)：在宅看護実習におけるルーブリック評価表を導入した効果の検証、日本在宅看護学会誌、9 (2)、67-76.
- 24) 深山華織、岡本双美子、中村裕美子、他 (2018)：在宅看護学実習における学生のルーブリック自己評価表を用いた学習活動の効果、大阪府立大学看護学雑誌、24 (1)、49-56.
- 25) 近藤邦代 (2017)：母性看護学実習評価にルーブリックの導入を試みて、第 47 回日本看護学会論文集看護教育、111-114.
- 26) 古城幸子、木下香織 (2013)：老年看護学実習の教育評価にルーブリック評価表を導入して、新見公立大学紀要、34、15-20.
- 27) 甲賀純子、角典似子、小田初美 (2016)：ルーブリックを統合実習に導入して～主体的学習への効果の検討～、京都第二赤十字病院医学雑誌、37、58-63.
- 28) 前山直美、石川智子 (2016)：プロジェクト学習とポートフォリオ評価を基盤としたルーブリックの導入効果、神奈川歯科大学短期大学部紀要、3、7-14.
- 29) 糸賀暢子、元田貴子、西岡佳名恵 (2017)：看護教育のためのパフォーマンス評価 ルーブリック作成からカリキュラム設定へ、医学書院.

執筆者紹介 (所属)

| | | |
|------|-------------------|----|
| 堺香奈子 | 八戸学院大学 健康医療学部看護学科 | 助教 |
| 坂本保子 | 八戸学院大学 健康医療学部看護学科 | 教授 |
| 簗さと子 | 八戸学院大学 健康医療学部看護学科 | 助手 |
| 前森桃子 | 八戸学院大学 健康医療学部看護学科 | 助教 |
| 藤邊祐子 | 八戸学院大学 健康医療学部看護学科 | 講師 |

表 1 沐浴実施のルーブリック評価表

| 沐浴実施のルーブリック評価表(実習前) | | | | 施行日 | 年 | 月 | 日 |
|---------------------------------|--|--|---|---|---|---|---|
| 実習施設 | | 学籍番号 | 氏名 | グループ名 | | | |
| 学習課題：新生児の身体的特徴を理解し、安全安楽に沐浴実施できる | | | | | | | |
| 評価尺度 評価観点 | 自立レベル 4点 | 実習到達レベル 3点 | 演習レベル 2点 | 努力レベル 1点 | | | |
| 沐浴準備の知識 | <input type="checkbox"/> 助言なしで物品がすべてそろっている | <input type="checkbox"/> 少しの助言で物品がすべてそろえられる | <input type="checkbox"/> かなりの助言で物品がそろえられる | <input type="checkbox"/> 物品がそろえられない | | | |
| | <input type="checkbox"/> 助言なしで物品が適切な位置に準備されている | <input type="checkbox"/> 少しの助言で物品が適切な位置に準備されている | <input type="checkbox"/> かなりの助言で物品を適切な位置に準備できる | <input type="checkbox"/> 物品を適切な位置に準備できない | | | |
| | <input type="checkbox"/> 助言なしで新生児の衣服の準備が整っている | <input type="checkbox"/> 少しの助言で新生児の衣服の準備が整っている | <input type="checkbox"/> かなりの助言で新生児の衣服の準備ができる | <input type="checkbox"/> 新生児の衣服の準備ができない | | | |
| | <input type="checkbox"/> 湯の最適温度がわかる | | | <input type="checkbox"/> 湯の最適温度がわからない | | | |
| | <input type="checkbox"/> 助言なしで物品の片付けと使用場所の整備ができる | <input type="checkbox"/> 少しの助言で物品の片付けと使用場所の整備ができる | <input type="checkbox"/> かなりの助言で物品の片付けと使用場所の整備ができる | <input type="checkbox"/> 物品の片付けと使用場所の整備ができない | | | |
| 安全安楽 | <input type="checkbox"/> ベッドネームと新生児標識の両方を確認できる | <input type="checkbox"/> 少しの助言によりベッドネームか新生児標識の片方を確認できる | <input type="checkbox"/> かなりの助言によりベッドネームか新生児標識の片方を確認できる | <input type="checkbox"/> ベッドネームと新生児標識を確認できない | | | |
| | <input type="checkbox"/> 処置台とベビーコットのストッパーを確認できる | | | <input type="checkbox"/> 処置台とベビーコットのストッパーを確認できない | | | |
| | <input type="checkbox"/> 助言なしで関節に注意しながら衣類の着脱ができる | <input type="checkbox"/> 少しの助言で関節に注意しながら衣類の着脱ができる | <input type="checkbox"/> かなりの助言で関節に注意しながら衣類の着脱ができる | <input type="checkbox"/> 関節に注意しながら衣類の着脱ができない | | | |
| | <input type="checkbox"/> 新生児から目を離す際に、周囲に声をかけられる | | | <input type="checkbox"/> 新生児から目を離す際に、周囲に声をかけられない | | | |
| | <input type="checkbox"/> 助言なしで全身を観察でき、安全に沐浴できる | <input type="checkbox"/> 少しの助言で全身を観察でき、安全に沐浴できる | <input type="checkbox"/> かなりの助言で全身を観察でき、安全に沐浴できる | <input type="checkbox"/> 全身を観察し安全に沐浴できない | | | |
| | <input type="checkbox"/> 介助なしで児を安全に腹臥位に体位変換できる | <input type="checkbox"/> 少しの介助で児を安全に腹臥位に体位変換できる | <input type="checkbox"/> かなりの介助で介助で児を安全に腹臥位に体位変換できる | <input type="checkbox"/> 児を安全に腹臥位に体位変換できない | | | |
| | <input type="checkbox"/> 介助なしで安全に背部、殿部を洗える | <input type="checkbox"/> 少しの介助で児を安全に背部、殿部を洗える | <input type="checkbox"/> かなりの介助で介助で児を安全に背部、殿部を洗える | <input type="checkbox"/> 児を安全に背部、殿部を洗えない | | | |
| | <input type="checkbox"/> 助言なしで沐浴後の保温に注意できる | <input type="checkbox"/> 少しの助言で沐浴後の保温に注意できる | <input type="checkbox"/> かなりの助言で沐浴後の保温に注意できる | <input type="checkbox"/> 沐浴後の保温に注意できない | | | |
| | <input type="checkbox"/> 助言なしで児に声掛けができる | <input type="checkbox"/> 少しの助言で児に声掛けができる | <input type="checkbox"/> かなりの助言で児に声掛けができる | <input type="checkbox"/> 児に声掛けができない | | | |
| | <input type="checkbox"/> 助言なしでボディメカニクスを考えて実施できる | <input type="checkbox"/> 少しの助言によってボディメカニクスを考えて実施できる | <input type="checkbox"/> かなりの助言によってボディメカニクスを考えて実施できる | <input type="checkbox"/> ボディメカニクスを考えて実施できない | | | |
| 沐浴手順 | <input type="checkbox"/> 助言なしで洗面ボールに湯を準備し、適切に顔面を清拭できる | <input type="checkbox"/> 少しの助言で洗面ボールに湯を準備し、顔面を清拭できる | <input type="checkbox"/> かなりの助言で洗面ボールに湯を準備し、顔面を清拭できる | <input type="checkbox"/> 洗面ボールに湯を準備し、顔面を清拭できない | | | |
| | <input type="checkbox"/> 介助なしで足部より湯に入れ、からだ全体にお湯をかける | <input type="checkbox"/> 少しの介助で足部より湯に入れ、からだ全体にお湯をかけられる | <input type="checkbox"/> かなりの介助で足部より湯に入れ、からだ全体にお湯をかけられる | <input type="checkbox"/> 足部より湯に入れ、からだ全体にお湯をかけられない | | | |
| | <input type="checkbox"/> 介助なしで頭部、頸部、腋窩、上肢、胸部、腹部、下肢、股間の順番に洗える | <input type="checkbox"/> 少しの介助で頭部、頸部、腋窩、上肢、胸部、腹部、下肢の順番に洗える | <input type="checkbox"/> かなりの介助で頭部、頸部、腋窩、上肢、胸部、腹部、下肢の順番に洗える | <input type="checkbox"/> 頭部、頸部、腋窩、上肢、胸部、腹部、下肢の順番に洗えない | | | |
| | <input type="checkbox"/> 介助なしで臍帯、耳甲介、鼻腔の処置ができる | <input type="checkbox"/> 少しの介助で臍帯、耳甲介、鼻腔の処置ができる | <input type="checkbox"/> かなりの介助で臍帯、耳甲介、鼻腔の処置ができる | <input type="checkbox"/> 臍帯、耳甲介、鼻腔の処置ができない | | | |
| | <input type="checkbox"/> 介助なしで頭部と頸部に注意して整髪ができる | <input type="checkbox"/> 少しの介助で頭部と頸部に注意して整髪ができる | <input type="checkbox"/> かなりの介助で頭部と頸部に注意して整髪ができる | <input type="checkbox"/> 頭部と頸部に注意して整髪ができない | | | |